

20210316 湘南地区連 道路実態調査

湘南地区連は、交運労協を通じての道路改善要求とすべき道路実態調査を3名で行いました。

8:00に藤沢駅に集合。まずは、駅にある喫煙所、川名の踏切周辺、鎌倉メッキ(株)裏の信号、城南交差点周辺、茅ヶ崎駅の喫煙所、四ノ宮、酒井、伊勢原工業団地、大井松田インター周辺、いすゞ藤沢工場周辺道路の実態調査を行いました。

藤沢駅の喫煙所はむき出し状態、パーテーションも無く受動喫煙対策が全くとられていない。茅ヶ崎駅の喫煙所は現在移転のため使われていないが、数名の方が喫煙をしていました当然灰皿もないところです。蛍光灯の柱で火を消している光景も目にしました。一部の方の行いが全体に影響します。ルールは守っていただきたいですね。

道路関係では、進展がなかったものの、新たな発見があったりし、充実した調査になりました。

特に伊勢原の工場団地内のトラックの駐停車問題では、提言の様な事となっていないもののつい最近、死亡事故が起きていました。その影響もあるのか?再度状況を確認することとなりました。また、いすゞ自動車周辺においても、提言の様な事が起きていないことから、時間帯を考慮し再度調査が必要です。

4/24開催の役員会にて、報告と改善提案を示す事となっています。

やはり、実際にドライバーの目を見た改善は必要だと再認識しました。



藤沢駅南口 喫煙エリア



川名踏切周辺



四之宮7丁目付近



酒井2491付近



鈴川 36 付近



足柄上郡大井町 474 付近

【行動者から】

今年の湘南地区連・道路実態調査も新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、緊急事態宣言下の中で昨年のメンバーで調査致しました。朝 8:00 藤沢市川名の調査から始まり、夕方の大井町を最終に、神奈川県内 9 カ所を回りました。

今回の調査で改めて感じたのは、「やはり実際に足を運んで、現場を見ないと解らない」この一言に尽きます。現在は Google などを見ながら、パソコン上で調査できる方法もありますが、実際に調査してみると事故の痕跡があったり（壁を削る・ガラスやプラスチックの破片等）します。実際に事故があれば、深刻な問題が起きている証拠であり、緊急性が増します。また実際に見ることで、役員・幹事さんへの説明や議員さんへの説明にも説得力が出ます。今後もこの様な形で調査していきたいと思います。

4/24（土）の役員会までにしっかりとまとめ、その後の幹事会にてご報告したいと思います。

湘南地区連 議長 萩原和彦（丸全昭和運輸労働組合）

昨年からの継続要求箇所を含めて 9 箇所を周り改善されているか？新規に関してはどのような改善要求が良いか？ソーシャルディスタンスを保ちながらの調査となりました。

昨年からの継続要求箇所に於いては残念ながら目立った改善はされていませんでしたが、1 箇所だけ信号機が歩車分離に変わっていた箇所がありました。周辺道路ではインターチェンジの建設が進んでおり完成後には車の流れ人の流れも変わる可能性があるため今後も確認していきたいと考えます。

新規箇所に於いては信号機の設置が望ましい箇所、迷惑駐車箇所に於いてはその周辺ではありますが調査 1 週間ほど前の早朝に大型トレーラーの後部に乗用車が突っ込み、死亡事故が発生している箇所があり、3 人で話し合った結果、早急な提言の必要との判断になり 4 月にその他の箇所も含めて再調査を行う事にしました。

提言を行っても直ぐに改善される事はなかなかない中ではありますが少しでも皆様の働きやすい環境、住みやすい街づくりを実現するべく今後も調査、提言の継続を行おうと 3 人で確認した 1 日になりました。

湘南地区連 事務次長 萩原弘達（日新労働組合）